



きれいな水 豊かな農業

～ 下流域だより ～ Vol.12



Topics

- ◆ “かんしょ” 水やり試験を実施
- ◆ 国営事業の進捗状況
- ◆ 事業の目的・効果
国営幹線水路による水の安定的な確保



国営吉野川下流域農地防災事業の
ホームページもご覧ください！

国営吉野川 |

検索

“かんしょ”の水やり試験を実施

鳴門市里浦町の畑で行った、だいごんの“水やり試験”について本紙 Vol.9 で試験の概要および結果をご紹介しました。今回は、だいごと併せて実施しました“かんしょ”の水やり試験について一部ご紹介いたします。

試験方法

同じ畑に水をやる所とやらない所を設けました。水をやる畑の畦下には土の水分を測定する器械（土壌水分計）を設置し、あらかじめ設定した値より土が乾燥すると1日1回自動的にスプリンクラーで水をやるような仕組みで水やりを行い、水をやらない畑は天水のみで栽培しました。

※水分の管理は農業研究所の水分管理指針を参考にしています。



試験畑



土壌水分計



生育状況の確認

☆ 収穫写真 ☆



水やり



水なし

試験結果

水をやった畑では、水をやらなかった畑に比べてイモの収量が向上し、総重量では4月植付け分では108%、5月植付け分では125%の増収になりました。水をやった畑のイモは皮色が鮮やかで形状もスマートで外觀・品質にも優れていました。ただし、試験を担当したJA里浦の指導員さんからは、「収穫期の過剰な水やりは食味品質の低下を招くので特段の注意が必要だが、生育初期から中期にかけては気象状況に合わせ、適宜水やりができることが望ましい」とのコメントを頂いています。

もっと詳しい試験内容は・・・
“だいごん”・“かんしょ”の水やり試験（かん水試験）結果を営農資料としてそれぞれまとめパンフレットを作成しています。ご興味のある方は国営事務所までお問い合わせ下さい！



～ 国営事業の進捗状況 ～



☆ 鳴門市大麻町の北部幹線水路を設計開始しました！



これまで未着手であった鳴門市大麻町萩原・池谷・松村地区の北部幹線の路線については地元の方のご意見をいただき、現在、左図のオレンジ色の線で計画しています。

この路線を基に本年度より詳細な設計を開始し、平成21年度から順次工事着手できるように進めています。この地域はレンコンの優良産地であり、工実施の際には営農への配慮等十分注意していきなさいと考えています。今後、地元説明会も適時開催してまいりますので引き続きご協力よろしくお願いいたします。

☆ 東部幹線水路（北島町・松茂町）の工事を始めさせていただきます！

東部幹線水路については、これまで北島町で一部工事完了し、続きの「北島町北村地区」～「松茂町中喜来地区」間で本年度から順次工事（右図のオレンジ色の線）を実施する予定です。

この工事区間では地表を掘削することなく、地中をモグラのように掘り進む方式（推進工法・シールド工法）により工事を行いますので地上部への直接的な影響は少ないと考えています。工事用車両の通行等、安全面および環境面に十分配慮いたしますのでご協力よろしくお願いいたします。



☆ 最近の工事状況

板野町・藍住町で工事中の南部幹線水路および第十幹線水路については、地域住民の皆さんのご協力により工事は順調に進んでいます。



【板野町日出家地区】
地表を掘削して行う箱形水路工事
（内空断面：2.6m×2.6m）



【藍住町富吉地区】
黄色の機械がモグラのように地中を掘り進む推進工法
（管水路の内径：φ2.0m）



国営幹線水路により水の安定的な確保 が期待されます！

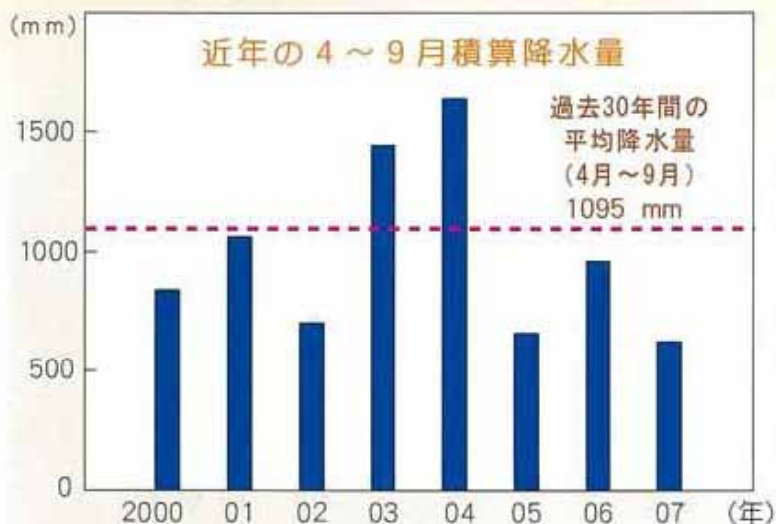
近年、地球温暖化が地球規模の問題となっていますが、私たちの生活にも確実にその影響と感じられる気象現象が起こっています。

昨年は、下記のデータに示すように異常な乾燥年でした。営農においては気象状況が直接影響しますが、降水量と関係する用水の安定的確保は最重要課題の一つです。国営吉野川下流域事業では“きれいな水”を農地に供給することに併せて水の“安定的な確保”も大きな目的と考えています。

比較的水に恵まれてきた当地区ですが、これからは水を有限な資源として捉え、効率的な水利用が要求されると考えられます。今後、国営幹線水路から配水される吉野川の水を地区内で有効に利用していただき益々この地区の農業が発展することを期待しています。



◎ 最近の気象状況



昨年 2007 年の徳島气象台観測の年間降水量 860.5mm は、観測史上 (1891 年以來) 最も少ない記録的乾燥年でした。

また、昨年の 4 月～9 月の降水量は 624mm でしたが 7 月の台風 4 号による 254mm を除けば 370mm と平均降水量*の 1/3 程度しかありませんでした。近年の降雨傾向としては小雨と豪雨といった極端な降り方となっているようです。

*平均降水量 (4 月～9 月) は 1970 年～1999 年の 30 年間の平均

☆ 編集後記 ☆

幹線水路の水位を調整していると水の出口に写真のようにたくさんの鯉が集まってきました。写真が小さいのでわかり辛いですが、かなりの大物の集まりで子供心をくすぐられうれしくなり、しばらく息をひそめて見入ってしまいました。下流域管内の田や水路にはいろいろな生き物がいます。水環境を良くし生き物がいつまでも見られる地域を保っていきたいですね。(平成 20 年 8 月 20 日)



お問い合わせ先：


中国四国農政局四国東部農地防災事務所：板野郡板野町川端字庄境 2-1

電話 088-(672)-5252

吉野川下流域土地改良区

：鳴門市大麻町萩原字アコメン 3-1

電話 088-(683)-5811

(愛称： 水土里ネット吉野川下流域)

水土里ネット